



## Index

新型コロナウイルス感染対策下の活動状況  
委員会ニュース 災害被災者支援委員会  
ホームレス支援委員会

広島県地域生活定着支援センター  
若年性認知症サポートルーム  
連載コラム 加藤 博史 氏(龍谷大学名誉教授)

## 新型コロナウイルス感染対策下の活動状況

会長 山中 康平



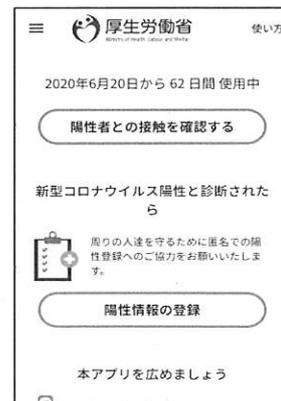
新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

皆さまの勤務先等においても、感染防止対策やサービス提供対策など、日々刻々と変化する中、様々な取り組みをされていることと思います。私自身も、特別養護老人ホームなど高齢者福祉、介護事業を運営している社会福祉法人で勤務しているのですが、日々新型コロナウイルス対策の対応に追われています。

さて、当会としては、委員会などについては感染拡大防止の観点から集合した形での会議ではなく、引き続きWebを使った会議を行っております。先日行われた、ぽあとなあひろしまの名簿登録者会議は、Webを用いて開催させていただきました。スーパービジョン研修も、今年度は対面ではなく、Webを使って実施させていただいています。また、当会の事務局員や、県から委託を受けている地域生活定着支援センター、若年性認知症サポートルームの運営体制については、状況次第ではありますが、テレワークや時差出勤などを取り入れ、職員の感染防止対策を行い、事業運営にできる限り影響が出ないように努めます。

会員の皆さまにご不便をおかけし申し訳ございませんが、感染状況、国や県からの要請、情報発信などを確認し、ホームページやメーリングリストを活用しながら情報発信、情報共有を図り、事業運営に取り組んでまいります。

最後になりますが、この病が一日も早く収束することを願っております。



接触確認アプリ 利用していますか?

## 委員会 NEWS 災害被災者支援委員会



まず始めに、この度の「令和2年7月豪雨」によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆さまに心よりお悔やみ申し上げます。また、被災された方々に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨」から2年が経過しました。

広島県は全国最多の149人(うち災害関連死40人)の尊い命が失われています。災害関連死の審査を待つご遺族もおられ、犠牲者はさらに増える可能性があります。また、今も広島県で5人、岡山県で3人の行方が分かっていません。(令和2年7月現在)

仮設住宅などで「仮住まい」を続けておられる方々も未だ多く、砂防ダムなどの整備が遅れる地域もあり、被災地の復旧・復興への道のりは依然遠い状況が続いています。

当会が所属する広島県災害復興支援士業連絡会では、各被災地域で相談会等を開催し支援活動を行っています。広島県、県社協(県地域支え合いセンター)、士業連絡会の3者間協定は地域支え合いセンターがその役目を終えた後でも活動できるよう新たな協定を思案中です。

コロナ禍により災害支援の方法は変化し、支援者を募る場合も地域や人数の制限を設けることも予想されます。

今後、会員の皆さまへ支援のお願いをさせて頂くことがあるかと思えます。その節には可能な範囲でのご協力をお願い申し上げます。

【委員長 三上 和彦】

## 委員会 NEWS ホームレス支援委員会



### 新型コロナウイルス感染対策下における生活困窮者支援

2月以降、広島でもほとんどの支援活動が中止となる中、東京、大阪、福岡では、食べるものやマスクの提供、ネットカフェを追いやられた人たちの宿所を行政に働きかけて確保する支援活動等が行われていることを知りました。定額給付金の申請が始まると、住民登録が不明な人たちへの支援活動が活発になってきました。

そして経済活動の停止・縮小により、生活困窮者は急増し、緊急小口資金、住居確保給付金、生活保護の申請も跳ね上がっています。7月25日中国新聞によると、「緊急小口資金特例貸付」は、3月25日から7月18日までの4か月弱で、全国で申請件数約57万9千件、申請総額約1045億円です。2009年度のリーマンショック時は年間で申請件数1万6千件、申請総額約13億円だったことから、申請総額は約80倍となっています。

生活に困窮する人が確実に増えていく中、私たちにできることは何なのか、今何をしなければいけないのか、してはいけないのか。葛藤する中、ホームレス支援委員会の活動については、感染対策を十分に行ったうえでの継続を三役に認めていただき、くつろぎ入浴サービス・よろず生活相談・おとな食堂を続けました。それぞれの活動の詳細は、「ホームレス支援ニュース第21号」をご覧ください。

シェルターの運営についても、他の受託団体と共同で広島市に申し入れ(入居者の健康チェックやマスク・消毒剤等の提供)を行い、実行していただくとともに、事務局職員が、シェルター管理人への注意喚起やマスク・消毒剤などの提供をこまめに行ってくださいました。

※認定社会福祉士対応「生活困窮者ソーシャルワーク研修」は、2020年度の開催は延期とします。

【委員長 鈴川 千賀子】

## 司法と福祉をつなぐ 広島県地域生活定着支援センター

☎082-250-0503 祝日・年末年始除く月曜日から金曜日 8:30~17:30

広島県地域生活定着支援センターは、高齢の方や障害のある方が、矯正施設から退所した後に、地域で安定した生活を送れるよう、各市町村の福祉事務所、相談支援事業所、地域包括支援センター、医療機関など、さまざまな機関と協働して支援しています。当会が広島県から事業を受託して、今年で11年目に入りました。

センターの具体的な業務を、少しずつご紹介します。センターの主な業務は①コーディネート（帰住先の調整支援）、②フォローアップ（帰住後の生活定着支援）、③相談支援の3つです。まずは、矯正施設出所にあたってのコーディネート業務は、保護観察所からの依頼に基づいて始まります。センターの相談員が矯正施設に赴いて面接を重ね、本人が望む出所後の生活に向けて、住居や福祉サービス等について必要な調整を進めます。矯正施設内では限られた対応となる面もあり、加えて今は、新型コロナウイルスの影響で、対面での面接ができない矯正施設もありますが、一人暮らし、施設入所など、本人が望む生活はさまざまです。出所してから本人の思いに沿う生活に近づけるよう、できるだけ、直接面接する機会をつくるようにしています。

【センター長 仁井 恭子】

## 若年性認知症サポートルーム

☎082-298-1034 祝日・年末年始除く月曜日から金曜日 9:00~17:00

コロナの流行も終息しないままに迎えた今年の梅雨も大雨が続き、会員の皆さま方におかれましても、それぞれの現場でご尽力なさっていることと存じます。

さて、若年性認知症サポートルームでは、この度、県立図書館で「知ってください、若年性認知症」と題し、ブース出展を行っております。認知症に関する図書館の蔵書や広島県作業療法士会や県内で診療されている医師、支援専門職、認知症の人と家族の会広島県支部からご紹介いただいた本も「館内閲覧用」として展示させていただいております。予定していた「子ども向け認知症絵本教室」や「認知症サポーター養成講座」は、コロナの流行により開催できず残念ではありましたが、皆さまも是非図書館に行ってみてください！！（出展期間 10月11日（日）まで）

コロナの流行で認知症カフェやサロンも開催できない、紹介できないと悩んでいた中、とある支援専門職の方から「発見があったよ！」と連絡を頂きました。これまで、対面での認知症カフェではほとんど自分の話をしてこれなかった当事者の方が、オンラインでの開催の時に、自分の方からどんどん話してくださった！とのこと。これまで、「当事者の方は対面じゃないと話せないのではないか」と思い込んでいましたが、直接会わないことで緊張感も薄れ、話しやす



かったと言われ、支援者側も支援の方法を考える時期に来たのだなと感じたとのことでした。「認知症」と診断された方は、周囲からの支援がないとうまく発信できない、言いたいこともしっかり伝えられない思いがちでしたが、それこそが支援者の思い込みであったと感じさせられる出来事でした。

【委員長 吉岡 孝二】



## 社会福祉士のアイデンティティ 2. 「クライアント中心主義」

龍谷大学名誉教授 加藤 博史

クライアント(Ct.)は、特別な依頼人、顧客の意味です。この用語で患者を呼ぶことを始めたオットー・ランクは、クライアント・センタードネス(Ct.中心主義)も提唱しました。ランクのアメリカでの講演を聞いたカール・ロジャーズは、早速この理念を自分の理論に取り入れました。

ランクの父親は宝石商でしたが、アルコール依存となり、貧困に陥ります。ランクはアルバイトをしながら工業高校を出て、機械工として長時間労働に従事していた人です。アドラーとの出会いから、フロイトを紹介され、秘書に採用されてウィーン大学まで出してもらいました。ですから、ランクはフロイトに大きな恩があるのです。しかしランクは、「フロイト先生は、どう育ったかに重点を置いて精神療法をしているが、私は、Ct.自身がこれからの生き方をどう決断するかに重点を置いた療法がしたい」と考えて「意志療法」を創出していきます。

Ct.中心主義は、Ct.の言いなりになることではなく、Ct.の意志の発揮を下支えする理論です。意志を發揮するには、Ct.が巻き込まれている感情の渦の「見える化」、自分で自分を縛りつけている機序の「見える化」を手伝うことも必要です。

同時に、Ct.が置かれている社会的立場の「見える化」(状況のセルフ・アセスメント)、および、基本的人権の喚起を手伝うことが欠かせません。特に、憲法で、「健康で文化的な生活を営む権利」が、国際条約で、「地域で色んな人と個性を活かしつつ暮らす権利」が定められていることは、案外、意志として發揮されていないことが多いようです。つまり、自分の努力が足りなかった、自分が不注意で失敗した、と思い込んでいることが少なくありません。否、「そう思い込ませる」強力な社会的言説があり、ワーカー(Wr.)もそれに染まっていると言えます。



精神障害や知的障害のある人を前にして、Wr.はついつい、「自分はしっかりした人、相手はしっかりしていない人」という妄想にとり憑かれていることがあります。これは優生思想であり、Wr.中心主義です。

Wr.は Ct.の、「自分はダメだ」という自己卑下感、「もっとしっかりせねば」という自責感を受けとめ、Ct.を丸ごと心底からリスpektすることが求められます。それによって、Ct.が「自分は大切な価値ある存在であり、文化的で個性的な生活を送る権利がある」との意志発揮が促されます。この意志発揮をエンパワメントと言います。

### 広告募集

社会福祉をめぐる現場での課題を共有し、よりよい福祉実践を目指すネットワークを作る為、本会広報媒体を活用頂きたく、関係諸団体の広告協賛の募集を致します。理念の告知、イベントお知らせ、新規事業開始のお知らせ、人材募集情報等、ご活用ください。

本会ホームページ上から「公益社団法人広島県社会福祉士会広告掲載取扱規程」「広告掲載申込書」をダウンロード頂き、本会事務局へお送りください。

内容	期間・回数	料金(税別)
「会報紙」記事掲載	単発(1回のみ)半頁(A5)巻末広告集	15,000円
会報紙へのチラシ同封	1回 A4・1枚	30,000円
ホームページ掲載	1年掲載(バナー)	60,000円
ホームページ記事掲載	1回(1か月ごと)記事掲載	5,000円

心配事が3つ。コロナ、熱中症、カーブ。いつになったら平穏な日々に戻ることやら【藤谷】 いまだ出かける気になれず、通販ありがたいです【坂本】 毎朝必ず検温、体調管理は必須！毎日お酢を飲んだり健康意識も高くなってきました。皆さんはいかがですか？【幸本】 例年とは全く違う夏ですが、気温だけ変わらず高温で参ります【酒井】 今号より、広報委員会に入りました杉本です。ちょっと古い新人ですが、皆さんとの出会いを楽しみい〜♪にしています【杉本】 鉄器の風鈴。高く優しい音を聞くだけで、体温が2~3℃下がる気がした。最近あまり見かけなくなったな…【巴】

次回の広報紙は令和2年11月発行予定です。

